

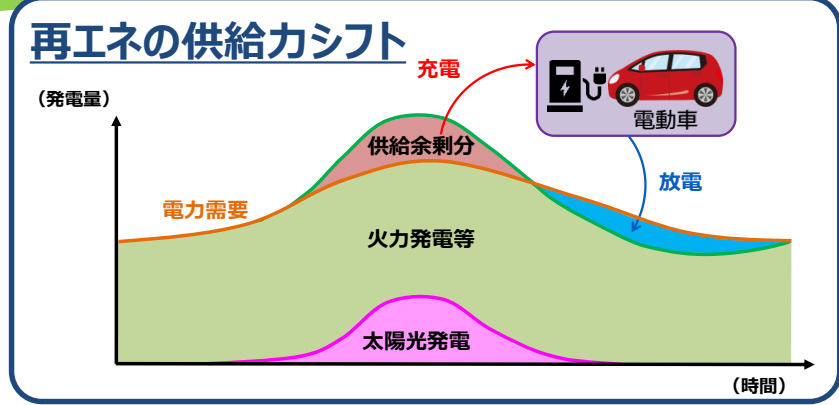
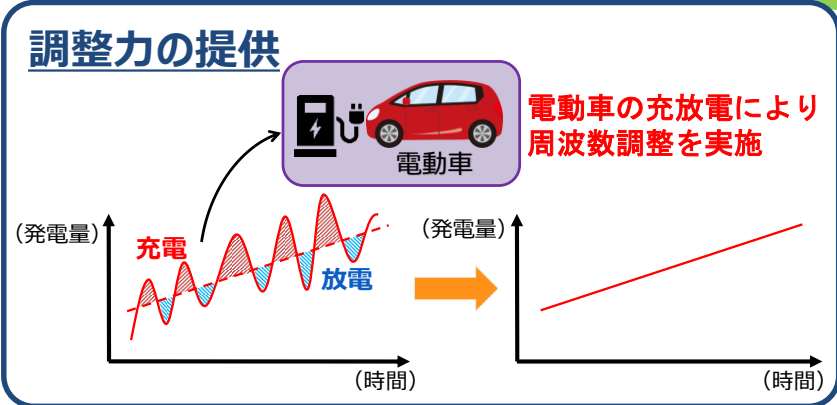
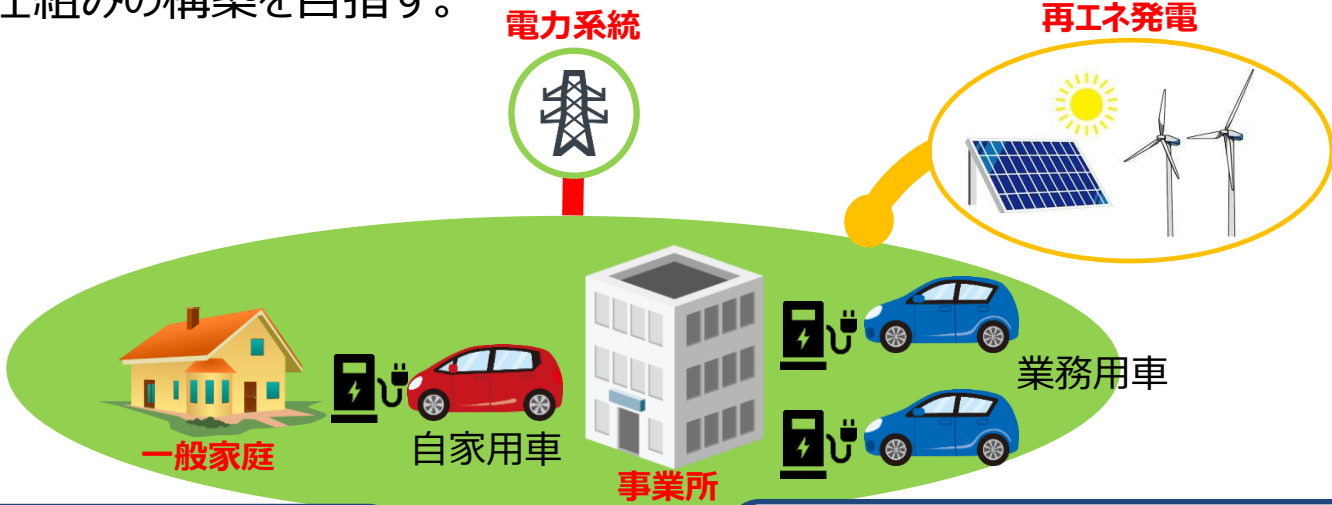
添付資料：本実証事業の概要

豊田通商株式会社

中部電力株式会社

本実証事業の目的

再エネの普及拡大に伴い、今後、出力変動の増大や余剰電力の発生が想定される。このため、電動車の車載蓄電池を束ねて充放電させることにより、調整力や再エネの供給力シフト等として電動車を利活用する仕組みの構築を目指す。



- 環境負荷の低い電動車の普及、ユーザへの電動車・充放電器の新たな価値の提供
- 新たな調整力リソースの確保、リソース多様化による需給調整コストの低減

➡ 低炭素社会の実現、電力の安定供給への貢献

本実証事業の内容、システム構成

① V2G制御システムの開発（豊田通商）

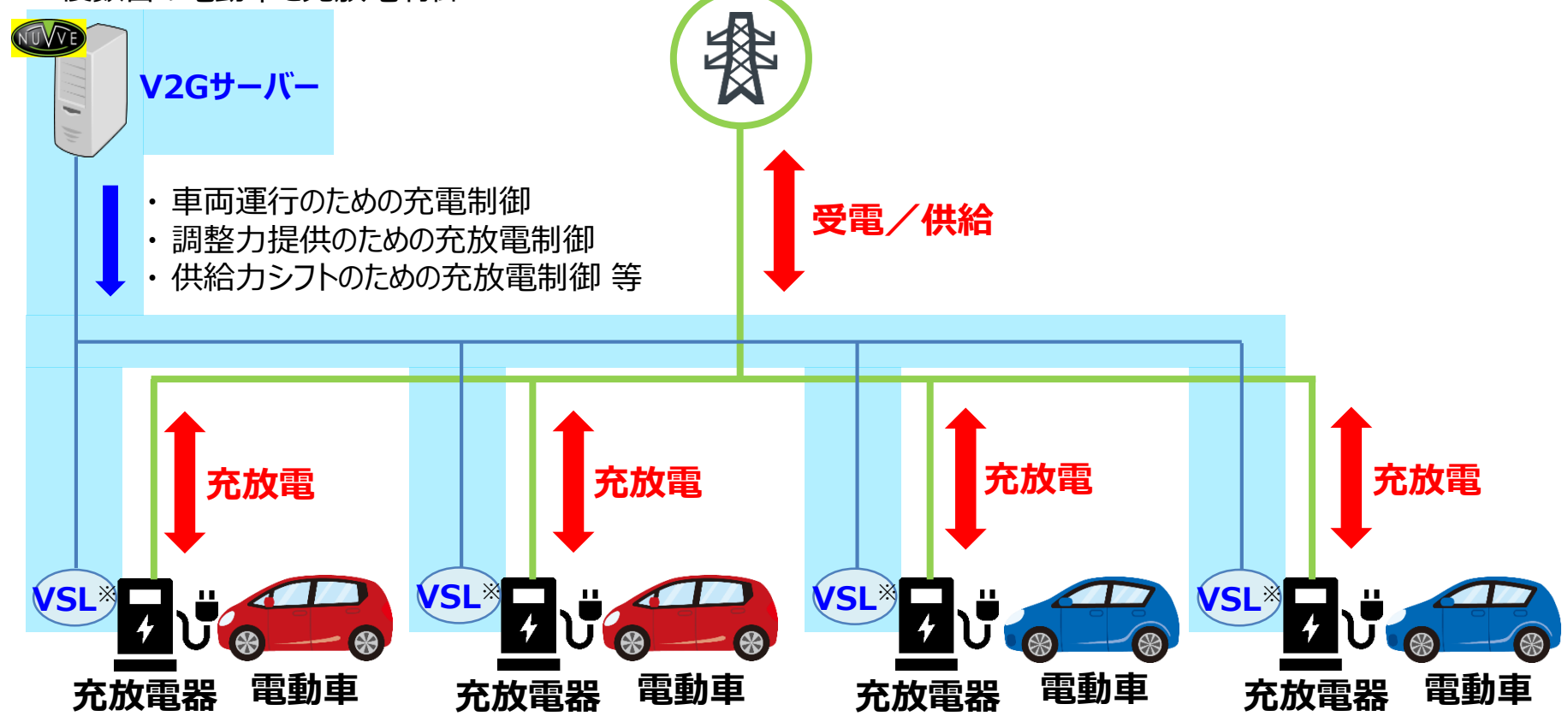
- ✓ 豊田市の駐車施設に電力系統へ逆潮流可能な充放電器を設置。
- ✓ ヌービー社製のV2Gサーバーと充放電器を連携させ、V2G制御システム（電動車アグリゲーションシステム）を構築。

② 電力系統への影響評価（豊田通商、中部電力）

- ✓ V2G制御システムからの指令に基づき、調整力としての応動性能を評価。
- ✓ 充放電器からの逆潮流に伴う電力系統への影響を評価。

V2G制御システム

…複数台の電動車を充放電制御



※ VSL (Vehicle Smart Link) : ヌービー社が開発したV2Gサーバーとの通信基板

本実証事業のスケジュール

	2018年度	
	上期	下期
V2G制御システムの開発	 採択後～2018年10月頃	
充放電試験結果分析	 2018年10月頃～2019年2月頃	
報告書提出	★ 2019年2月頃	